

■夢の実現へ リニア中央新幹線 73

リニア県期成同盟会総会開催
道の駅「リニアの見える丘公園」(仮称) 整備促進協議会

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、7月21日に多治見市で開催されたリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の平成28年度定期総会と、9月1日に開催された道の駅「リニアの見える丘公園」(仮称)整備促進協議会についてお伝えします。

問 リニア対策課(☎内線214)

リニア県期成同盟会総会開催

リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会(会長 古田肇岐阜県知事)の平成28年度定期総会が、7月21日セラミックパークMINOで開催されました。

総会では、平成28年度事業計画などの議案審議のほか、リニア中央新幹線の早期実現と利便性向上などを求める7項目の決議が採択されました。決議には、沿線自治体および住民の意向に配慮する環境対策の中に「地下水・土壌汚染対策」、県内企業の受注機会の拡大に努める中に「中部総合車両基地を含めた建設工

事」の文言が今年度新たに加わりました。

最後に、同盟会副会長である青山市長が「岐阜県の東口の玄関の役割をしっかりと果たすために前に向けてしっかりと取り組みを進めてまいります。」と閉会のことばを述べました。

総会後には、国土交通省交通政策審議会委員で(株)宣伝会議取締役メディア・情報統括の田中里沙氏を講師に迎え「リニア中央新幹線を活かす地域の事業構想」をテーマに講演が行われました。



閉会のあいさつをする青山市長

第3回道の駅「リニアの見える丘公園」整備促進協議会

9月1日、第3回道の駅「リニアの見える丘公園」(仮称)整備促進協議会(以下、協議会)が開催されました。

協議会では、幹事会から幹事長が出席し、昨年10月に開催された第2回協議会で示された4つの候補エリア(苗木城、中部総合車両基地周辺、リニア岐阜駅周辺、山口)について、地域特性として回送線を走行するリニアが見えること、拠点としての整備に向けた課題や留意点などを総合的に検討した結果、リニアの見える丘公園として整備する最適地として「中部総合車両基地周辺」エリアを選定したことを報告し、承認されました。

また、今後の整備見通しが示され、リニア事業の建設発生土を活用して敷地の整備を行なったあと、リニアの開業に合わせ本格稼働を目指していくとともに、開業前の試験走行などが見られるよう、暫定的にオープンさせるといった考えが示されました。

今後は、整備手法の検討や、リニア中央新幹線の事業主体であるJR東

海に対し、道の駅「リニアの見える丘公園」(仮称)の整備のための支援・協力を求めていることが確認されました。

リニア駅周辺整備課が
移転しました

リニア駅周辺整備課は、9月1日から地域の皆さまのお声をよりいっただきやすくなるため、市役所本庁舎から坂本事務所横のリニア推進坂本事務所内に移転しました。駅周辺の土地区画整理事業に関して不明な点や、お話ししたいことなどありましたらお気軽にお立ち寄りください。

電話番号 68-2130(直通)

